

# 貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>流動資産</b>	<b>1,385,281</b>	<b>流動負債</b>	<b>2,707,299</b>
現金及び預金	368,752	短期借入金	1,800,000
未収金	996,292	1年以内返済予定の長期借入金	462,010
未収消費税等	15,938	未払金	406,017
その他流動資産	4,298	未払法人税等	17,676
		未払利息	952
<b>固定資産</b>	<b>46,576,542</b>	賞与引当金	9,120
鉄道事業固定資産	32,651,371	その他流動負債	11,523
有形固定資産	17,910,956	<b>固定負債</b>	<b>36,130,247</b>
無形固定資産	14,740,415	長期借入金	31,416,650
建設仮勘定	12,908,872	長期前受金	4,707,331
投資その他の資産	1,016,299	その他固定負債	6,265
差入保証金	7,492	<b>負債計</b>	<b>38,837,547</b>
長期前払費用	1,008,807		
		(純資産の部)	
<b>繰延資産</b>	<b>4,923</b>	株主資本	9,129,200
株式交付費	4,923	資本金	14,695,300
		利益剰余金	△ 5,566,099
		その他利益剰余金	△ 5,566,099
		繰越利益剰余金	△ 5,566,099
		<b>純資産計</b>	<b>9,129,200</b>
<b>資産合計</b>	<b>47,966,748</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>47,966,748</b>

# 損 益 計 算 書

〔 平成23年4月 1日から  
平成24年3月31日まで 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
鉄道事業営業収益		
線路使用料収入	800,356	
運 輸 雑 収	45,708	846,064
鉄道事業営業費		
一 般 管 理 費	44,479	
諸 税	158,994	
減 価 償 却 費	1,704,712	1,908,186
鉄 道 事 業 営 業 損 失		1,062,122
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	80	
雑 収 入	413	493
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	175,294	
株 式 交 付 費 償 却	4,544	
雑 支 出	1,410	181,248
経 常 損 失		1,242,877
税 引 前 当 期 純 損 失		1,242,877
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	2,010	2,010
当 期 純 損 失		1,244,887

# 株主資本等変動計算書

〔 平成23年4月 1日から  
平成24年3月31日まで 〕

(単位：千円)

	株主資本		純資産合計
	資本金	利益剰余金	
		その他利益剰余金	
		繰越利益剰余金	
当期首残高	14,469,800	△ 4,321,211	10,148,588
当期変動額			
新株の発行	225,500		225,500
当期純損失		△ 1,244,887	△ 1,244,887
当期変動額合計	225,500	△ 1,244,887	△1,019,387
当期末残高	14,695,300	△ 5,566,099	9,129,200

# 個別注記表

〔平成23年4月1日から  
平成24年3月31日まで〕

## 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）

鉄道事業取替資産 取替法によっております。

その他の有形固定資産 定額法によっております。

無形固定資産 定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、見込利用期間（5年）の定額法によっております。

リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

長期前払費用 均等額償却を行っております。

### 2. 繰延資産の処理方法

株式交付費 繰延資産とし3年の定額法により償却処理しております。

### 3. 引当金の計上基準

賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当事業年度に負担すべき金額を計上しております。

### 4. 消費税等の会計処理 税抜き方式によっております。

### 5. 支払利息の建設原価算入処理

鉄道建設事業に要した資金に対する支払利息を建設原価に算入しております。

### 6. 工事負担金等の会計処理

鉄道事業における連続立体交差化工事等を行うにあたり、関係自治体等より工事費の一部として工事負担金等を受けております。これらの工事負担金等は、工事完成時に当該工事負担金等相当額を取得した固定資産の取得原価から直接減額しております。

### 7. ヘッジ会計の処理方法

繰延ヘッジ処理によっております。なお、特例処理の要件を満たしている金利スワップについては特例処理によっております。

#### 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額	2, 919, 296 千円
2. 固定資産の取得原価から直接減額された 工事負担金等累計額	27, 386, 058 千円
3. 固定資産の科目ごとの総額	
有形固定資産	17, 910, 956 千円
土地	918, 452 千円
建物	2, 000, 710 千円
構築物	14, 176, 918 千円
機械及び装置	651, 633 千円
工具・器具・備品	163, 240 千円
無形固定資産	14, 740, 415 千円
施設利用権	14, 716, 964 千円
その他	23, 450 千円
4. その他の関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債権	2, 380 千円
短期金銭債務	303, 019 千円

#### 損益計算書に関する注記

その他の関係会社との取引高	
線路使用料収入	800, 000 千円

#### 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の数	293, 906 株
(平成23年度増資株式の数)	4, 510 株)

#### 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因は、繰越欠損金等であり、評価性引当額として全額を控除していることから、貸借対照表上繰延税金資産は計上していません。

## 金融商品に関する注記

### 1. 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、資金調達は関係自治体及び金融機関からの借入を行っております。

借入金の使途は設備投資資金であり、一部の長期借入金の変動リスクに対して金利スワップ取引を実施して支払利息の固定化を実施しております。

### 2. 金融商品の時価等に関する事項

平成24年3月31日（当期決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	貸借対照表 計上額 ※	時 価 ※	差 額
(1) 現金及び預金	368,752	368,752	—
(2) 短期借入金	(1,800,000)	(1,800,000)	—
(3) 長期借入金	(31,878,660)	(32,617,287)	738,627
金融機関	(7,133,360)	(7,871,987)	738,627
関係自治体	(24,745,300)	(24,745,300)	—
(4) デリバティブ取引	—	—	—

※ 負債は、( )で表示しております

### (注) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

#### (1) 現金及び預金並びに(2) 短期借入金

これらは、短期間で決裁されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、当該帳簿価額によっております。

#### (3) 長期借入金（1年以内返済を含む）

長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。金利スワップの特例処理の対象とされている一部の借入金についても、当該金利スワップと一体として処理された元利金の合計額を、同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

なお、関係自治体からの借入金の時価については、返済期間が長期であり、時価を把握することが極めて困難と認められるため、当該帳簿価額によっております。

#### (4) デリバティブ取引

金利スワップの特例処理によるものは、ヘッジ対象とされている長期借入金と一体として処理されているため、その時価は、当該長期借入金の時価に含めて記載しております。

### 賃貸等不動産に関する注記

当社は、放出～久宝寺間において、線路使用料を受受する鉄道施設（おおさか東線）を保有しております。この施設の時価については、線路使用者が限定されるため一般的な市場価格が観察できないこと、取得原価から直接減額した工事負担金等受入相当額が帳簿価額に含まれないこと等により時価を算定することが極めて困難なため開示を致しておりません。

### 資産除去債務に関する注記

当社は、本社事務所の建物賃貸借契約に基づき、事務所退去時における原状回復に係る債務を有しておりますが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、将来本社を移転する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることが困難なため計上致しておりません。

### 1 株当たり情報に関する注記

1. 1株当たり純資産額	31,061円	64銭
2. 1株当たり当期純損失	4,271円	87銭

関連当事者との取引に関する注記

[法人主要株主等]

(単位：千円)

属性	会社等の名称	議決権等被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	事業年度末残高
主要株主	大阪府	直接 28.71%	—	出資金 (注1)	65,600	資本金	4,219,300
				補助金 (注2)	164,876	未収金	136,690
				借入金 (注4)	504,200	長期 借入金	10,146,100
				支払利息 (注4)	4,825	未払利息	83
主要株主	大阪市	直接 28.71%	—	出資金 (注1)	65,600	資本金	4,219,300
				補助金 (注2)	164,876	未収金	136,690
				負担金 (注3)	531,138	未収金	325,794
				借入金 (注4)	504,200	長期 借入金	10,146,100
				支払利息 (注4)	4,822	未払利息	80
その他の 関係会社	西日本 旅客鉄 道㈱	直接 21.48%	建設工事の 委託、おお さか東線鉄 道線路貸付	出資金 (注1)	65,600	資本金	3,156,750
				工事費 (注5)	2,921,792	未払金	297,400
				線路使用料 収入 (注6)	800,000	—	—
				債務被保証 (注7)	8,933,360	—	—

#### 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注1) 大阪外環状線鉄道建設にあたり、大阪府、大阪市及び西日本旅客鉄道株式会社等との合意に基づき、鉄道建設資金の出資を受けております。
- (注2) 大阪外環状線鉄道建設は幹線鉄道等活性化事業費補助適用事業に採択されており、これによる補助金を交付されております。
- (注3) 自治体が施行する都市計画都市高速鉄道事業大阪外環状線連続立体交差化事業等に伴い、当社施工工事に係る負担金を受入れております。
- (注4) 大阪府、大阪市との契約に基づき、大阪外環状線鉄道建設事業資金の借入を行うとともにその利息を支払っております。
- (注5) 大阪外環状線建設工事の施行を委託する協定を締結し、これに基づく工事費を支払っております。
- (注6) おおさか東線に関する鉄道線路使用契約に基づき線路使用収入を受入れております。
- (注7) 金融機関からの借入金に対する保証予約を受けております。
- (注8) 取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。